

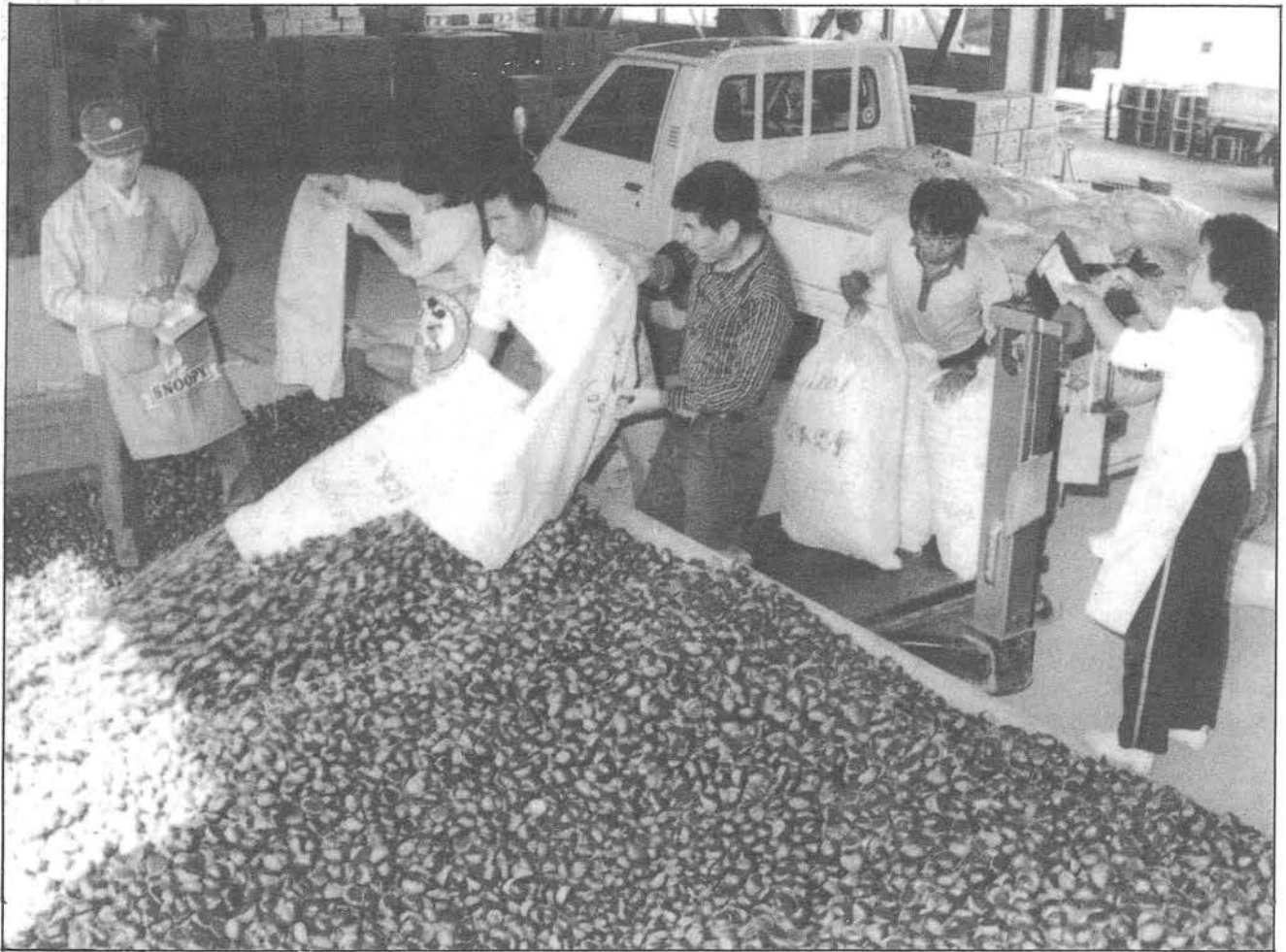
広報

肱川

1984 10月



No. 19



とじて保存しましょう。

栗の出荷最盛期

今年は雨不足の影響でやや小玉

肱川農協栗撰果場では今が栗の出荷最盛期で、毎日農家から約30tの栗が持ち込まれています。

今年は台風の襲来もなく、イガ付きも良いので豊作が見込まれていましたが、実入り時期の雨不足によって、玉太りが悪く今年産の目標出荷量である600tを下回る約480tになりそうです。ここで撰別された栗は、5kgごとに箱詰めされて東京・大阪・名古屋方面へ出荷されています。

(写真は % 肱川農協栗撰果場で)

今月号の主な内容

＝町報＝

- 基幹林道肱川・野村線全線開通…2
- 9月定例町議会……………4～7
- 国道197号バイパス計画
ルート発表……………7
- 医療費制度の改正……………8
- お知らせ……………22

＝農林だより＝

- 肱川クリ出荷……………10
- 小田町を訪ねて……………11

- 今月の農作業……………13
- ＝商工かわかみ＝
- クローバースタンプ会
ダブルサービス……………14
- 雇用保険の改正……………15
- ふるさと回想記……………17
- ＝公民館報＝
- スポーツの秋いろいろ……………18
- リレー随筆……………19
- 大谷古文書……………20

町民のうごき

人口 3,876人 (+7)
 男 1,890人 (+4)
 女 1,986人 (+3)
 世帯数 1,064 幕 (-3)

(昭和59年9月30日現在)

基幹林道 肱川・野村線全線開通

予子林から天神まで14.2キロに

肱川町予子林と野村町惣川天神を結ぶ基幹林道肱川・野村線の開通を祝う竣工式が十月三日、午前十時から終点の野村町天神において池田県議、県関係者・柴田町長・大野町長・大野村長・町村議員・工事関係者・地元関係者約百五十人が出席して盛大に行われました。

おごそかな神事のあと、池田県議・大野肱川町長・柴田野村町長・大野河辺村長・県代表者・建設業者代表によってテープカットが行われ、このあと会場から起点の予子林までの全長十四・二キロメートルをパレードして開通を祝いました。

この林道は、肱川町・野村町・河辺村の三か町村の道路を有機的に結び、地域林業の振興と生活基盤の整備を図るため、過疎法に基づく基幹林道の指定を受けて昭和五十四年七月に県代行によって着工。総工費九億六千九百二十二万二千円、延長十四・二キロメートル、幅員四・〇メートルの立派な道路が五年の歳月を得て今年七月に完成しました。この林道開通によって、大駄馬



開通を祝って行われたテープカット

から茶堂・岳山を経て峰峠に至る一・二工区は六・四キロメートル、また、峰峠から惣川天神の三・四工区は七・九キロメートルとなりました。このため、鹿野川から峰峠までの約二十キロメートルが、車で四十分かかっていましたが、この林道の開通で距離・時間とも約半分に短縮されました。

またこの林道は昔の往還道成形どって山嶺を走っているため自然景観も素晴らしく、路面舗装が出来れば鹿野川から大野ヶ原を結ぶスカイラインとして生まれ変わり、地域林業の振興や

生活基盤の整備、観光資源の開発にも大きな期待が寄せられています。

現地での竣工式のあと、午前十一時三十分からは会場を肱川町公民館に移して、今井・西田両代議士、池田・岡田両県議をはじめ地方局・柴田野村町長・大野肱川町長・大野河辺村長・町村議員・工事施工者・地元関係者約二百二十人が出席して祝賀会が開かれました。

柴田町長が開会のあいさつを述べたあと、肱川・野村線基幹林道建設促進同盟会長の野村町長があいさつに立ち「山嶺に延々たる道のたえずみ、リンリンと鳴くコオロギの澄んだ音色を

聞くとき、鈴をひびかせながら五穀を背に往来した馬子達や牛馬の姿を偲ぶことができる。今その道を形どり基幹林道が本日立派に完成した。

今後は、周辺町村が結束し、交流を深めて定住の村づくり、農林業の振興を図っていかねばならない」と式辞を述べました。

次に工事経過報告が行われ、工事施工者の肱川建設工業株式会社・上田建設株式会社・株式会社清水建設の三社にそれぞれ感謝状が贈られました。

続いて来賓の八幡浜地方局長、また、公務多忙にもかかわらず遠路ご臨席いただいた今井代議士・西田代議士、池田県議・岡田県議、県森連会長からそれぞれ祝辞をいただきました。

このあと行われたアトラクションでは、野村町惣川の井上潔さんが昔の馬子達が唄っていたという馬子唄を見事なので披露していただきました。

この馬子唄が会場に流れると出席者の中には



林道の開通で様相が一変した中津の峰峠



関係者220人が集って開通を祝った祝賀会

工事経過

昭和53年3月

肱川町、野村町、河辺村及び地域関係者により「肱川野村基幹林道建設促進期成同盟会」を設立。県への陳情請願を行い建設予定地の踏査、用地所有者の同意促進をはかる。

昭和53年11月

過疎地域対策緊急措置法に基づ

じつと目を閉じ、その昔馬子達が牛馬の背に荷をつけて街道を往来した姿を偲ぶように聞き入っていました。

このあと祝宴を行って祝賀行事を終わりました。

秋の味覚どっさり

特別町民へふるさとの香り第一便

「ふるさとの香りを都会の人に味わってもらおう」と肱川町特別町民百六十四人に「ふるさとの香り」の第一便を十月八日ひじかわ特産開発センターから発送しました。

この「ふるさとの香り」は今回の発送が第一便とあつて、特産開発センターでは朝から町長をはじめ町職員ら十五人の手によって今回発送分の肱川特産の栗(五詰)、ゆず(九個)、乾しいたけ(一バック)、キュウリのかす漬け、新米(肱川産のコシヒカリ)、肱川町の銘菓「文楽もなか」(十個)、秋ミョウガなど七品目を箱詰めしました。

なお、次回は十二月の正月用品として、鏡もちやしめ飾り、干しがきなどを発送します。

肱川町が、今年六月一日から行っている特別町民制度は「都会の人々が求めている緑あふれ



今回箱詰された7品目

る自然と素朴で人情味あふれる肱川町のふるさとを提供して親睦を深め、あわせて町の活力を取りもどそう」と始めたものです。

特別町民に加入するには、会費二万円(一年契約)を添えて申し込んでもらえば直ちに台帳に登録され特別町民証が交付されると共に、肱川町の特産品を詰め合わせた「ふるさとの香り」「ふるさとの便り」が



町職員の手で次々箱詰される「ふるさとの香り」第1便

年四回届けられることになっていきます。また、その他にもいろ

いろな特典が設けられています。特別町民募集につきましては町民の皆さんをはじめふるさと肱川会の会員の皆さんのご協力によって県内から四十三人、その他東京・大阪・中京方面、遠くは北海道からの応募もあつて現在百六十四人の方が加入していただきました。今後さらには特別町民の輪を広げて行きたいと思っております。皆さんの友人等へご紹介いただくようお願いいたします。

なお、特別町民の加入申し込み等についての詳しいことは役場企画課「肱川ふるさと会係」へお問い合わせください。

また、特別町民募集のパンフレットも沢山ありますので、ご利用ください。

山下 建くん(瓜生谷)

58・3・4日生まれ(1歳7か月)



お父さん 新一さん(36歳)
お母さん 千代子さん(32歳)

お父さんが近所にない名前を探してつけました。

車が大好きで、朝目がさめるとすぐに車の本を見ている。車にあきると近所の大小屋へ一人で歩いて行っては犬と遊んでいます。

将来は、元気でたくましく育ってほしいと願っています。

わが家のアト礼

楳野 若菜ちゃん(中居谷)

58・3・5日生まれ(1歳7か月)



お父さん 利光さん(33歳)
お母さん ゆかりさん(26歳)

お母さんが出産前から気に入っていた名前だったので名付けました。

最近、お姉ちゃんやお兄ちゃん、そして親のすることを見てはその動作を真似て笑わせます。今は、パーマンが大のお気に入り、本を見て喜んでいきます。

将来は、健康で、気持ちのやさしい子に育ってほしいと願っています。

く、基幹道路の事業として採択し県代行で建設していただくための「基幹林道肱川野村線の早期着工促進決起大会」を開催

昭和54年1月

県営林道として施行決定。

昭和54年7月

第1工区、第4工区を設定。それぞれ設計入札を決定。

7月9日「基幹林道肱川野村線起工式」を、県ご当局のご出席を得て地元関係者により盛大に行い、着工となる。

昭和59年7月

全線完成。

◎設計・施行

愛媛県知事 白石 春樹

◎総延長

14,222.22m

(内訳)

肱川町分 6,353.1m

野村町分 6,204.8m

河辺村分 1,664.3m

◎幅員 4.0m

◎総事業費

969,222千円

◎施工者

(第一工区)

肱川建設工業株式会社

代表取締役 久保田仁之

(第二工区)

上田建設株式会社

代表取締役 大野 一則

(第三・四工区)

株式会社清水建設

代表取締役 清水 徹

総額二十四億二千二百萬円の 前年度決算を認定

九月定例町議会

肱川町議会九月定例会は、九月二十二日に招集され、会期を二十七日までの六日間と定めて町長發議の九議案について、それぞれ原案どおり可決し、請願及び議員提出の決議案各一件を採択して閉会いたしました。

なお、行政事務に対する一般質問は、五人の議員から十一項目にわたって行われました。

一般質問

◎町有宅地の管理について

問 町内には、町有地を団体で使用しているものや、団体の所有地を町が使用しているものが各所にあり、以前から整理する方向で、話し合いが進められていると聞いているが、現時点における話し合いの進捗状況と、今後の見通しについて伺いたい。

答 なお、それぞれの宅地には、地域格差があるが、その点についても考え方を伺いたい。

問 町としては、必要な土地は買い受け、必要でないものについては、払い下げ又は交換して、団体や住民の皆さんに利用していただきたいと考えております。農協関係では、元の宇和川中学校、現在の大谷事業所及び農林会館の敷地などがありますが、町有地を明確にし、現在双方が利用している状況を考慮しながら、結論を出したいと考えてまして、すでに、農協へはこの旨を伝えていくことになっております。

しかしこの問題は、町有財産の取得及び処分に関する案件でありますので、農協は役員会で、町は議会において、十分に検討いただき、その結果を踏まえて年内には、およその目途をつけたいと考えております。



9月定例町議会

◎行財政の見直しについて

問 国や県の行財政改革に伴って、当町においても行財政の見直しや、事務改善などについて、

答 町といたしましても、当然に取り組むべき問題でありますので、プロジェクトチームを編成したり、全職員からの提案をうけたりしながら、順次進めておりますが、基本的には、健全財政の確立を大きな柱といたしまして、特に財務管理を強化いたしました結果、財政調整基金の積立も予想以上の実績があがっておりますので、見直しの効果は逐次現われてくるものと思っております。

しかし、まだ検討すべき余地も残っておりますので、常に合理化・効率化を念頭におきまして、更に努力を続けてまいりたいと考えております。

◎県営林道開設に伴う沿線の観光開発について

問 待望の県営林道、肱川・野村線が近く開通の運びとなることは、地域住民にとって喜ばしい限りである。

答 十月月上旬には、開通式が行われると聞いているが、以前から懸案となっているこの沿線の観光開発計画はどうなっているのか伺いたい。

問 林業経営の安定化と、定住促進をはかることを目的として開設された林道ではありますが、観光的な役割も大きい道路でありますので、町といたしましては、四十周年記念事業ならび

に緑の町推進事業によって、サクラ四百二十五本・モミジ三百本・ツバキ百二十本・サザンカ百五十本を、皆さんの協力を得て今春植付けたらidedてあります。

しかし、道路工事と並行いたしまして、沿線の植林も急テンポで進んでおりますので、今後は、



今年7月に完成した肱川・野村線(野村町天神)

現在のような展望は期待できないと思いますが、岳山・茶室・マンジユ越・墓地公園などを拠点とした、観光開発をはかつてまいりたいと考えております。

◎特産開発事業について

問 今年の夏キュウリは、需要と供給のバランスが崩れて、価格が低迷し、出荷調整も無意になり、規格外品については、ついに出荷停止となって、やむなく家畜の飼料又は、廃棄処分となってしまった。

そこで、農林産物の付加価値を高めるため、さきにオープンした特産開発センターの加工部では、このようなときに適切な対応ができなかったのか、将来のこともあり、あえて町長の考えを伺いたい。



かすづけに加工して販売されているキュウリ

答 今年のキュウリ作付面積は夏作が五ヘクタール、秋作が二ヘクタールの作付けとなり、当町の主要作目の一つになってまいりました。
しかし、夏作は非常に価格が暴落いたしました。秋作については、反転して高値を持続しておりまして、キュウリ特有の波があることを示しております。
主幹作目として奨励している以上、価格の谷間の対策を講ずることは、当然必要なことであるので、今後は農協とともに研究してまいりたいと考えて

おります。

特産開発センターの加工部がこの問題に対応することは、目的の一つではありますが、主幹作目には、主幹作目としての対応を考え、それに特産開発事業を上乗せすれば、より効果的であると考えられますので、今後は、このような方向で対応したいと思っております。

なお、今年の場合は、スタート後間もない関係で、生活改善グループによりまして、約二百キログラムの粕漬けをした程度でありましたが、明年度からは、順次体制を整えまして、少しでも要望に添えるような努力をいたしたいと考えております。

◎国道改良工事に伴う残土処理と町の振興開発計画について

問 去る八月十日、四国地方建設局は、鹿野川ダムサイドから、野村町坂石に至る延長六・七キロメートルについて、鹿野川道路と命名し、国の直轄工事で施工することを正式に発表しました。

その工事概要によると、橋とトンネルの間が、大半を占める計画となっており、工事進捗に伴って、ほう大な残土を処理せざるを得なくなることは必至である。そこで、この残土の有効利用と、長期展望に立った、町の振興計画とが、うまくタイアップ

できれば、大きな相乗効果が期待できることは、明白であると思うが、町長の考えを伺いたい。

答 ご意見のとおりでありまして、すでに建設省から、四十万立方メートルの残土処理についての依頼を受けているところであります。従いまして、この残土処理と町の振興計画を、どのように結びつけていくべきか、その可能性、その方法などについて、現在検討をいたしておりますが、皆さんの協力も、ぜひお願いいたします。

◎町道等の管理について

問 当町は、以前から道路網の整備には、特に力を注がれており、隣接町村に比べても、非常に長く、維持管理は大変であると思っております。

限られた人員での維持管理は容易でないことは、十分理解できるとは、町内を巡回して見ると高額を投入した道路上へ、廃車を放置したり、車庫代りに利用しているところもあつたり、凍結による崩土が、そのままになっていたりするところも見受けられるので、定期的に道路の巡回点検を行い、適切な指導をするような、体制づくりを考えられてはどうか、町長の考えを伺いたい。

答 ご意見のとおり、非常に延



グレーダによる路面整備

長が長くなつておりますので、適切な対応ができないところもあり、申し訳なく思っております。ご指摘の霜すずれにつきましては、御在所線外十二の路線につき業者委託により除去いたし、その他については、町有のグライダー及び関係地域の住民の皆さんの協力をいただきまして、整備をいたした次第であります。次に廃車の処置についてであります。廃車の放置によつて道路の効用が損われている箇所につきましては、係員による巡回指導の強化及び部落長さんをはじめ、地域の皆さんの協力も得ながら、対処していきたいと思っております。

なお、コンクリートの吹付けや、草の種子の吹付けについてのご意見もありましたが、これにつきましては、現地調査の結果、必要であれば、部分的に施

工する方向で、検討をいたしたいと考えております。

◎町営住宅等の建設について

問 町営住宅及び教員住宅は予想以上に入居希望者が多く、まだまだ足りない状況である。また定住促進のためには、ぜひとも必要であるので、早急に建設するよう検討せられたい。

なお、現在の入居者の中には入居資格がないものがありはしないか。

公営住宅管理条例では「現在住宅に困窮している者」となっているが、具体的に説明願いたい。

答 住宅の建設については、町民の皆さんから好評をいただき、うれしく思っております。

しかし、まだ足りないということであれば、増設の方向で検討したいと考えています。

なお入居資格の一つである「現在住宅に困窮している者」の定義であります。が、条例の基になつては、公営住宅法にも定義を示してあらず、定めることが困難であると解説しております。

このことは、それぞれの地域や、自治体によつて、需給状況その他の条件が異なるので、画一的に定めることは、困難であるといつております。

従いまして、入居基準について
次ページへつづく

ては、それぞれの自治体の判断によつて、決定せざるを得ないといふことであり、当町の場合も、このような考え方によつて「困窮している者」の判断をいたしてありますので、ご理解をいただきたいと思います。

◎企業誘致の代替措置について

問 当町の場合、企業立地にかかる諸条件に恵まれていないので、誘致の実現は非常にむずかしい状況である。

従つて、その代替措置として町内で企業を起こすような研究をされてはどうか、町長の考えを伺いたい。

答 「意見はごもつともでありまして、町内で企業を起こすことが、最も近道であり最も望ましいことであると思っております。従いまして、内部課題として検討を進めるとともに、町内有志の力も活用し、情報や意見の交換をいたしているところであります。

皆さんからも、なにか良い案がありましたら、ご提言・ご教示をいただきますようお願いいたします。

◎職員採用と退職勧奨について

問 職員の採用について、町民

の間から批判の声を聞くが、公募のうえ、試験採用をしているにもかかわらず、批判があるというところは、なにか配慮の足りない点があるのではないか。

また、以前に退職勧奨されたときも結果的には、不公平となったので、不満が残っているものと思われ。

今後、勧奨される場合には、再就職先をあっせんするなどの配慮をすべきであると思うがどうか。

答 職員採用に対する考え方については、十分理解していただいているものと思っております。

しかし先年公募いたしました際には、非常に多数の方が応募されましたので、採用者の決定には苦慮いたしました次第であります。

従いまして、将来何年間かの採用予定を見越した人員を採用候補者名簿に載せることによつて、応募者への配慮・対応をいたした訳であります。住民の皆さんには、このことが理解されなかつたものと思ひます。

退職勧奨につきましては、ご意見のとおり配慮の足りなかつた点もあろうかと思ひますが、趣旨を理解されまして、勧奨に応じた方については、深く感謝をいたしております。

なお、さきに実施した退職勧が、当初の目標に到達しなかつたことは、遺憾であります。今後は、このような経過を踏ま

えて対処したいと考えています。

◎工事入札について

問 常に適正な入札が執行できるよう、業者指導の徹底をはかるべきと思うが、町長の考えを伺いたい。

答 このことについては、工事執行条例に基づいて、厳正に執行いたしておりますので、業者においても、その精神を理解していただいているものと確信しております。

◎新生活運動の実践について

問 昨年度に見直しをされて、

現在推進されている、生活運動のうち、病氣見舞や葬儀の改善についての申し合わせは、現実には守られていないし、心のこもつたものにもなっていない。

従つて、実状に添うよう改められる考えはないか伺いたい。

答 現在における町内での取り組み方や状況について、まず説明をいたしたいと思います。

部落におきましては、白石部落・森部落・山楯部落などが、運動の趣旨を生かすよう努力されているようであります。

団体では大谷老人クラブ・正山老人クラブなどで、役員の方々が先頭に立つて、真剣に運動の趣旨

徹底に努力されております。

一方公民館の生活文化委員会においても、常に問題を提起して、趣旨の浸透をはかつておられますが、その席でのおおかたの意見としては「せめて、お返だけでも止めていただけたら」ということとなっております。

なお近隣町村の例も調べて見ましたが、おおむね当町と変わりがなく、今すぐのことでもあり、当初合意に基づいて始めたことでもあり、今すぐのことでもなく諸物価の動向その他経済情勢が見直しをした当時と変化してきたときには、申し合わせに参画している機関団体によつて、協議会を開き、実状に合うような運動に改めるのか、実状を改めるのか、検討をいたしたいと考えておりますので、その節にはよろしくお願いいたします。

議決した議案

◎監査委員の選任

脇川町大字山鳥坂二一番地福田哲秋委員の再任に同意した。

◎教育委員会委員の任命

脇川町大字予子林一九三四番地、横田方之委員の再任に同意した。

脇川町大字大谷三五六二番地岡本完一郎委員の任命に同意した。

◎工事請負契約の締結

地域改善対策事業敷水地区農道新設工事、七千五百五十万円。

◎昭和五十八年度脇川町歳入歳出決算認定（別表）

◎課設置条例の一部改正

老人保健法の施行に伴い、老人医療事務が市町村の事務となつたため、町民課の分掌事務に追加された。

◎国民健康保険条例の一部改正

退職被保険者の一部負担割合を三割から二割とし、退職被保険者の被扶養者の一部負担割合を、外来は三割、入院は二割とするように改められた。

◎過疎地域振興計画の変更

町道高砂・小畑井線外十六路線の改良舗装工事の追加
農道添谷線外八路線の新設改良舗装工事の追加
林道久保・高尾山線外三路線の新設工事の追加
簡易下水道嘉城地区を追加

(別 表)

一般会計並びに特別会計の総括表

(単位：円)

事項 会計別	昭和58年度			
	歳入	歳出	差引繰越額	
一般会計	1,995,237 641	1,926,349 724	68,887 917	
特別会計	国保	222,210 357	204,118 811	18,091 546
	水道	22,858 552	22,841 164	17,388
	住宅	8,610 564	8,515 014	95,550
	老人保健	163,411 210	156,958 077	6,453 133
	計	417,090 683	392,433 066	24,657 617
合計	2,412,328 324	2,318,782 790	93,545 534	

◎昭和五十九年度鹿野川町一般会計補正予算(第二号)

「振替納税推進の町」宣言実行委員会補助二十五万円、スギカミキリ等被害木伐倒駆除事業補助三十万円、鹿野川ダム周辺観光道路整備費三十五万円、町道応急工事費七十一万円、がけくずれ防災対策事業費百四十一万円、少年スポーツ活動推進事業三十一万九千円、過年度公共土木施設災害復旧費五百五十四万二千円、町単独災害復旧費百四十六万円、農業施設災害復旧費二百五十七万円、農地災害復旧費六十四万八千円、予備費三百

八十五万九千円など、補正総額は二千七百三万円である。

◎国庫補助負担率引き下げによる地方負担軽減反対に関する決議

政府に対し、国庫補助負担率を一律に引き下げて、一方的に地方財政にしわ寄せすることのないよう求める決議

◎少額貯蓄非課税制度見直しに関する請願

少額貯蓄にまで、課税される事態とならないことを求める請願。

国道197号バイパス計画ルート発表

野村町—鹿野川ダム間6.7キロに(赤木)

トンネル4、橋10ヶ所

来年度着工 70年完成予定

建設省大洲工事事務所は去る八月十日、鹿野川公民館で、国道197号線のうち、鹿野川道路(野村町子林子林—鹿野川町宇和川間六七キロ)の改良工事ルートに関係市町村で作っている国道197号線整備促進期成同盟会(近田宣秋会長)と地元関係者に発表しました。

この日発表された計画ルートは、東宇和郡野村町子林子林—鹿野川町宇和川を結ぶ六・七キロで、現在の国道の山側に付け替えられることとなります。



改良ルート選定にあたっては、現在の道路がダムの付け替え道路として作られたもので、過去十数回の地すべりが発生していること、現在の距離が十・七キロあり道幅が五・五メートルと狭いうえカーブが多いため、トンネル工法が採用されたものです。

計画内容は、基本幅員の一般部分が二車線片側歩道の十メートル、橋梁部九・七五メートル、トンネル部八・五メートルです。工事は鹿野川町宇和川(鹿野川ダム)から野村町栗の木を第一期工事区間とし、残りの栗の木から子林子林間を第二期工事とします。

工事区間内には、トンネル四本(延べ四千四百メートル)と橋十ヶ所(延べ六百メートル)となっています。

この改良工事が完成しますと、現在のダム湖畔道を走り、十八分かつているものが八分間に短縮されます。また、トンネル工法の採用で、今までのように土砂崩れや災害発生等による交通遮断及び交通事故が減少し、安全で快適に走行できるほか、高知県西南地域と愛媛県中予地域の経済交通を活性化することができます。

鹿野川町では、国道改良工事に伴う今後の諸計画等については、鹿野川地域振興計画に折り込んで真摯に検討し、これに対処したいと考えています。

去る九月二十五日には鹿野川町公民館で、建設省大洲工事事務所主催による第一期工事区間の地元用地関係の説明と現地調査の説明会が行われ、いよいよ本格的な現地調査が始まります。

10月1日から 医療費制度が改正されました

医療保険制度が改正され、昭和五十九年十月一日から実施されています。

国保との直接的な関連では、新しく退職者医療制度ができたことと、高額療養費制度の改定ですが、主な改正点は次のとおりです。

高額療用費制度

現行 一人につき、同一月内に同じ病院の窓口で支払った金額が五万一千円(低所得者三万九千円)を超えた場合、その超えた分を国保が負担します。

改正

一般の限度額五万一千円は据置かれ、低所得者は三万円となり、またこの高額医療制度に、次の特例が設けられました。

▼ 同一世帯で一月三万円(低所得者は二万一千円)以上の医療費を二回以上支払った場合、その額を合算して五万一千円(低所得者は三万円)を超えた分については国保が負担します。

▼ 同一世帯で、年間に四回以上、高額療養費の支給を受けた場合、四回目からは、自己負担

の限度額が三万円(低所得者は二万一千円)となります。

▼ 高額な治療を長期間続けなければならぬ、血友病・人工透析治療など、厚生大臣の指定した病気については、高額療養費の限度額が一万円となります。

新しく退職医療 制度ができました

新設

国民健康保険の加入者で、長い間、会社や、役所に勤め、厚生年金保険や共済組合などから年金をもらっている人と、その家族は、退職被保険者及びその扶養家族として七十歳になって老人保健に移るまで、退職医療制度という新しい制度でお医者さんにかかることとなります。

この新しい制度は昭和五十九年十月一日から実施されています。

退職被保険者になる人

次の三つの条件にあてはまる人が退職被保険者として認められます。

- ①国民健康保険の加入者である人
- ②老人保健の適用をうけている人

資格の発生と届出

③ 厚生年金や共済組合などの被用者年金制度から老齢(退職)年金の支給を受けている人であって、年金保険の被保険者等の期間が原則として二十年以上であるか、または退職者年金制度に四十歳以後、十年以上加入して、通算老齢(退職)年金の支給を受けている人

退職被保険者の条件となる主な年金制度 ①厚生年金保険法 ②恩給法 ③船員保険法 ④国家公務員等共済組合法 ⑤地方公務員等共済組合法 ⑥私立学校教職員共済組合法 ⑦農林漁業団体職員共済組合法

扶養家族の届出

退職被保険者となる日は、年金の受給権が発生した日となりますが、年金受給権が発生すると、年金裁定の保険者より年金証書等が送られてきますから、年金証書等受領後十四日以内に、世帯主は役場町民課国保係へ所定の届書に年金証書等を添えて届出てください。

扶養家族

退職被保険者の扶養家族として認められる人は次の範囲の人です。

- 扶養家族 外来は医療費の三割
 - 入院は医療費の二割
- ① 偶者(内縁関係でもよい)
- ② その他、三親等内の親族
- なお、退職被保険者本人が老人保健法の適用をうけるようになったとき、または死亡したときは、扶養家族は、退職被保険者の扶養家族としての資格を失い、一般の国保の被保険者となります。

診療の受け方

国民健康保険退職被保険者証(昭和六十年三月三十一日までは、国保証と退職被保険者等証明書)を持参して診療をうけます。そのとき、次の一部負担金を医療機関に支払います。残りの医療費は退職被保険者制度が負担します。

- 退職被保険者本人 医療費の二割
- 扶養家族 外来は医療費の三割
- 入院は医療費の二割

扶養家族の届出

扶養家族の届出は世帯主が行います。届出は、必要に応じ次の書類を添付しなければなりません。

- ① 配偶者や、十八歳未満の子(もしくは重度障害者である子)以外の者は生計維持証明書
- ② 内縁関係の場合には、その事実を証明する書類

一口医学

結核は、結核菌を排菌している患者がせきをしたときに、とび散るしぶきに含まれている菌を吸入して感染することが最も多いのです。ところが、結核の初期は自覚症状が少ないし、まさか結核とも思わず平気でせきをし、まわりの人も気づかず結核菌を吸い込んでしまふ。小さい子供ほど感染しやすいので、注意が必要です。

若者の結核患者が減って

長びくせきは 赤信号

いるのは確かですが、老人層の減少率は少ないようです。

お年寄りのせきが長びいても、タバコの吸いすぎだろ、ぜんそくきみ……などと片付けられがちですが、ぜひ一度検査を受けてください。肺がんの早期発見につながることもあります。

本人のためにはもちろん、子供を守るためにも、結核を軽視しないことが大切です。

シートベルトの着用を訴え ヤクルトをサービス

～安協がR197号線へ交通茶屋を開設～

秋の全国交通安全運動期間中の九月二十二日、交通安全協会川上支部の役員さんが国道百九十七号線の高砂に交通茶屋を開設してドライバーの皆さんに交通安全を呼びかけました。



おまわりさんからシートベルトの着け方を受けるドライバー

年に比べて二十七件の増、死者は百十一人で十四人の増、傷者では昨年に比べ十人減っているものの六千九百六十人がケガをしています。

大洲警察署管内でも百四十九件発生して一人が死亡、百八十五人がケガをしており、町内でも三件を事故が発生して一人が死亡二人がケガをしています。

このような事故を少しでもくい止めようと安協川上支部では毎年交通茶屋を国道に設けてドライバーの皆さんにヤクルトをサービスして安全運転をお願いしていますが、今年には特にシートベルトの着用を呼びかけました。

今年、交通茶屋に止まっていたドライバーのシートベルト着用状況を調査しました。その結果、二百五十人のうちシートベルトを締めていた

シートベルト・ヘルメット 着用実態

県警では、免許更新時講習受講者1,000人を対象に、シートベルト・ヘルメットの着用実態等についてアンケート調査を行い、その結果を発表しました。その主なものは次のとおりです。

区分	シートベルト			ヘルメット		
	男	女	計	男	女	計
いつも着用している	14.9%	11.5%	14.1%	49.4%	44.2%	47.8%
時々着用している	46.1%	42.9%	45.4%	24.7%	26.7%	25.3%
ほとんど着用しない	39.0%	45.6%	40.5%	25.9%	29.0%	26.9%
着用しない理由	○めんどうだ 70.1%			○ヘルメットを持っていない 35.6%		
	○きゆうくつだ 9.0%			○めんどうだ 14.4%		
	○近くだから 9.0%			○近くだから 6.7%		

町職員の人事異動を発令

10月1日付で

肱川町職員の異動を十月一日付で次のとおり行いました。

- 一 (内は旧任)
 - ▽農林課長補佐・特産開発推進事業担当 二宮賢一郎 (農林課長補佐兼農林振興係長)
 - ▽町民課保健衛生係長 富永 勲 (町民課保健衛生係長兼国保年金係長)
 - ▽農林課農林振興係長 飛野弘幸 (農業委員会農地主事)
 - ▽町民課国保年金係長 宮本正

農業委員会

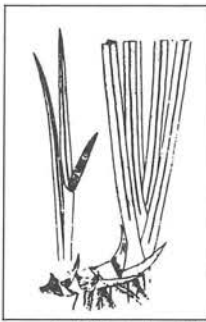
- ▽農地主事兼農政係長 松本善一 (建設課技師)

薬草のいろいろ

(32)

今月は「シヨウブ」を紹介し
ます。原野の湿地・沼・沢などに自生している常緑の多年草です。全体に香気があり、太い根茎は横に伸び葉は剣状で光沢があり長さ80cmにもなります。

初夏に葉状の花茎の中ほどに淡黄緑色の花の穂をつけます。端午の節句に、シヨウブ・ヨモギをたばねて屋根にさしあげたり、シヨウブ湯を使って、家族の健康や子供達が元気に育つ



シヨウブ(サトイモ科)

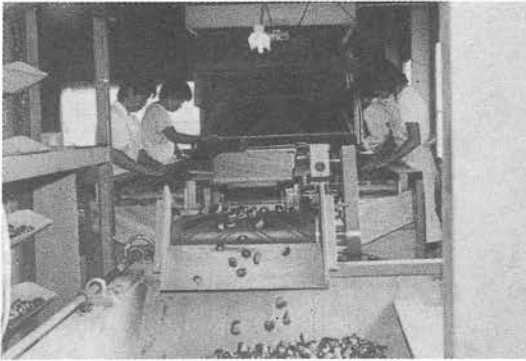
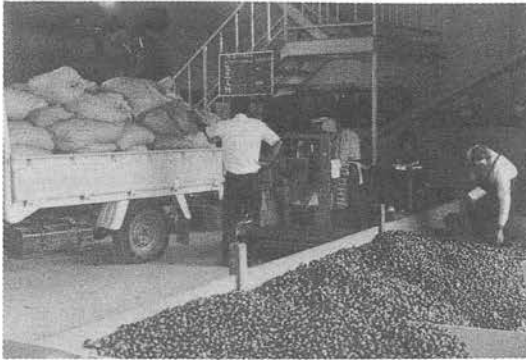
【採取時期と調整法】
11月～3月ごろまでか、また
【薬効と使い方】
① 神経痛・リウマチ・筋肉痛・腰痛に、浴湯として、こまかく刻んだ根茎を、軽く一にぎり分、布袋の中に入れて、なべて適当量の水で煮沸し、冷めないように袋ごと湯ぶねに移して、入浴する。体験された方の話しでは、常に利用し続けることだそうです。

肱川クリ出荷

肱川農協では、本年度出荷計画六百t（昨年対比九二%）を目標に八月二十七日よりクリの出荷が始まった。

出荷量は、十月四日現在で二百三十三t（昨年対比九三%計画対比三九%）と昨年を多少下回っている。これは、二年続きの干ばつとこの冬の寒害の影響により、クリの木自体がかなり衰弱しているためと思われる。特に早生栗の出荷は昨年対比の三〇%と影響が大きく、イガの生育が悪く、果実が小さいことが目立った。

又、特別被害の大きい園では、枯死木がでる等、これら環境条件の影響は大きい。



この傾向は、県下の他の産地にも見られ、価格面では、出荷最盛期の極端な落ち込みも見られず順調に推移している。

農家から出荷される果実を見ると以前、実炭そ病果・モモノゴマガラメイガその他害虫の被害果が多いようである。特に害虫が寄生すると木が枯れてしまつカツラマルカイガラムシの発生は、今年に入りほぼ肱川町全域に広がつたものと思われる。この害虫の防除は、冬のマシン油乳剤二十五倍の散布が最も効果的である。

冬の防寒を兼ね、収穫後、葉が落ちてから、厳寒期前には、是非防除して頂きたい。

肱川農協 年金友の会結成大会

者も年を追って増加し福祉重視の政治が行なわれることは誠に喜ばしいことであります。

肱川農協におきましても昭和五十年七月一日から国庫金振込

わが国の年金制度は昭和三十六年から国民皆年金が実施され、全ての国民が何らかの年金制度の恩恵を受けることになりました。老後の保障の柱となる年金制度への期待は益々高まりつつあり、又この制度の受給

の指定を受けて以来、年金振込口座獲得に努めて来ましたが、皆様方のご理解とご協力により国民年金・厚生年金・農林年金・農業者年金等、農協の窓口を通じて受取っておられる方が現在三百十名に達しました。

肱川農協ではこれら多くの協力者の皆様へ感謝の意と長年にわたり農業の振興や地域発展に尽された先輩各位がこれからも農協をよりどころに語らいの場をもつて会員相互の親睦と融和を深め健康で楽しい生きがいのある明るい人生を送っていただくため「年金友の会」の結成大会を来る十一月六日鹿の川荘で開催することに致しました。

該当者の皆さんにはご案内申し上げます。盛会を期待致します。

お米を上手に 仕上げましょう

今年天候に恵まれ、又大変心配されて居た台風も事なく通過し、米は豊作が予想されております。

米の集荷時期が近づきました。おいしい米に仕上げるために今からの作業次の点に十分注意し、全量農協へ出荷しましょう。

稲架ぼしは、2週間程度が最も良いといわれます。早目に脱穀して下さい。

脱穀した籾は過乾燥米にならないよう、又、発酵米・ヤケ米にならないよう乾燥しましょう。玄米水分は一四・五%を標準に仕上げるよう心掛けて下さい。

乾燥機の温度は余り高くせず、四十度以内が良く乾燥中は水分計で何回も玄米水分を計る。

◎調整は念入りに

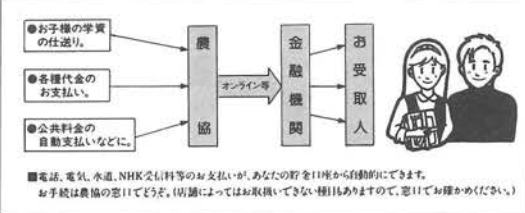
①ライスグレーダー等でくず米を除き、整粒歩合を高める。

②量目を正しく自米は皆掛けで三十五kg

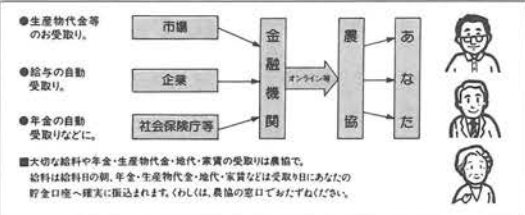
③籾の混入は絶対に防止する。籾の混入は等級の調整を正しく高温もみすりはやめましょう

大きく広がって 便利な為替サービス

お支払いに 全国どこへでも。



お受取りに 全国どこからでも。



振込をご利用の際には次の点にご注意ください。

○口座番号を正しく記入ください。

○お名前には必ずフリガナをお振ってください。

優良材生産地

小田町を訪ねて

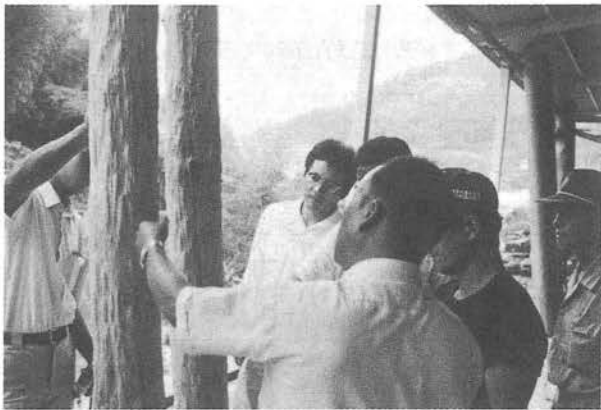
肱川町林研グループ

肱川町林研グループ（会長・森繁夫・会員十四名）は、去る九月二十一日、総会の日に例年先進地視察を実施しており、昨年は長浜町のクヌギ肥培林を視察し、原木林造成にも力を入れている。今年は五十二年に一度視察しており、前回視察した杉優良品種試験材のその後の成長及び経営について小田町を視察した。

まず小田町森林組合銘木加工センターの山本武志氏より、小田町の概況および、林研グループの説明を受け、センター内の見学及び、試験地の視察を行なった。

センターでは、天然木・人工絞の磨丸太や、年間七百本販売するという、スギケタ丸太等さすがは小田町であると感心させられた。この中で一番感心し興味を持ったことは、スギの無節優良タルキ材であった。未口五〜七cm、三〜四mのタルキが一本五千元で販売されており、安いものでも二千八百円位だそうである。このような情勢の中小田町では、

この「超短伐期林業」とは、スギ優良さし木苗（今の所シバハラ・シロスギが良いらしい）をha当り一万三千本〜一万五千本植え、枝打ちをくり返し行ない、約十年で無節タルキを取るというものである。単純に1ha一万本・一本三千円であれば、三千万円である。このような短伐期林業であれば、



加工センターにて
小田町で発見された天然絞丸太
左元玉1本見込価格500,000円
(数十万本に1本位の割合で発見出来る)

ば、若者の目をひき、後継者対策にもつながるものと期待しているそうである。



杉優良品種試験林にて(ほとんど100%直材)
51年4月造林 9年生
シバハラ他約3,800本造林
9月に250本伐採 タルキ材生産
無節タルキ 3m 1本3,500円
2m 1本2,500円 (に販売出来る見込)



加工センターにて
化粧タルキ・磨丸太

当肱川町林研でも、昭和五十年より、スギ優良品種さし木苗を導入しており、又優良柱（地利の良いところ）苗木の問題

にはいたっていない。このタルキ生産育林を執行するに当っては、植栽適地の選定

など種々の課題があるが、ぜひとも、新しい育林技術を導入し、実行したいと考える。

ブロッコリーの栽培管理

一、追肥

十月も半ばを過ぎると気温も急に低くなってきて、ブロッコリーの生育もしだいに暖慢になってきます。

一回目の追肥施用から十五〜二十日後を目安に、遅れないように第二回目の追肥を行い、茎葉の生育を促進しましょう。

追肥量は一回目と同様にNK特十一号を十アール当り四十キロ程度、株間に施用して下さい。

二、病害虫防除

病害虫は、コナガ・アオムシ・アブラムシ・ヨトウムシ・ベト病・黒腐病等の発生が引き続き考えられます。

害虫には、ランネット水和剤（一、〇〇〇倍）を発生初期に、ベト病にはダコニール水和剤（六〇〇倍）やビスダイセン水和剤（六〇〇倍）を、黒腐病には銅水和剤（一、〇〇〇倍）を葉裏や株元までいいいな散布を行い、健全な株作りに努めましょう。

木材市況

優良材生産は直材づくりから!

第357 59年9月17日
県森連市より (単位才当り:円)

長さ	未口径	スギ		ヒノキ		マツ	その他
		チョク	マガリ	チョク	マガリ		
4 m	7cm下	本 301	本 9	本 301	本 9		松バルブ 未口 6cm上 長さ 2m 28円
	8cm上	54	26	77	39		
	13cm上	54	39	114	61	18cm上66	
	18cm上	68	—	144	—	24cm上79	
3 m	7cm下	本 172	本 55	本 172	本 55		雑バルブ 未口 6cm上 長さ 2m 34円
	8cm上	42	26	54	34		
	11cm上	42	26	80	39		
	13cm□	70	—	126	—	18cm上60	
	13cm○	109	—	207	—	24cm上63	
	18cm上	70	—	116	—	30cm上74	
2 m	7cm下	本 43	本 14	本 43	本 14		松ハリ材 16cm~22cm 3m 63円 4m 74円 5m 88円 6m 84円
	8cm上	18	7	18	7		
	16cm上	28	14	49	14	13cm上28	
	30cm上	56	—	119	—	30cm上28	
6 m	13cm□	77	—	196	—		
	13cm○	94	—	294	—		
特選	13cm□	137	—	249	—		
	13cm○	249	—	546	—		
足場		1m当り25~140円		尺当り8~47円		1等材	
備考		杉・松材優良材の多量出材を見たもの製品市況低迷から、やや買気鈍く相場も頭打ち、松材は買気旺盛にて好調。					

椎茸市況

椎茸生産はクヌギ林造成から!

肱川町森林組合乾椎茸相場表

1. 市売日……昭和59年9月26日
1. 販売数量……166ケース 3,054.5kg

1. 数量内容及び平均単価

区分	銘	香	信	ドンコ	特用バレ	コーコ	その他
数量(kg)	927.5	300.4	1,793.2				33.4
比率(%)	30.4	9.8	58.7				1.1
平均単価	4,608	3,359	3,114				1,567

1. 銘柄別価格

銘柄	柄	単価	銘柄	柄	単価
大	厚	9,090	ドンコ	小	3,530
中	厚上	—	特用	大葉	4,940
中	厚並	7,850	大	バレ	3,210
小	厚	5,120	特用	中葉	4,310
大	ウス	7,790	中	バレ	2,970
中	ウス上	—	特用	小葉	3,230
中	ウス並	5,760	小	バレ	2,730
小	ウス	3,750	変形	大	6,890
ジャミウス		2,740	変形	小	3,560
ドンコ	大	9,030	色	落	2,450
ドンコ	中	6,500	コー	コ	—

《保安のチェックポイント10》

<p>ポイント① 火のついたことを必ず目で確かめましょう 正常に燃えているかどうかときどき確認を</p> 	<p>ポイント⑥ ガス器具は、ときどきお手入れを説明書に従ってお手入れをしてください。または農協にご相談を</p> 
<p>ポイント② いつも青い炎で使いましょう 熱のムダや酸化炭素中毒をさけるため、空気孔の調節を正しく</p> 	<p>ポイント⑦ ガス器具はLPG専用の器具を使いましょう 新しく器具を使う前には、必ず農協に連絡して点検をうけるようにしましょう。</p> 
<p>ポイント③ 換気に注意しましょう 使用中は、ときどき窓をあけるか換気扇を回して、新鮮な空気を</p> 	<p>ポイント⑧ 安全接続具を使いましょう 事故を未然に防ぐため、元せん用安全接続具をつけるようにしましょう。</p> 
<p>ポイント④ 元せん・器具せんは、完全に閉めましょう おやすみ前や、お出かけ前は再確認を</p> 	<p>ポイント⑨ ガスもれ警報器を設置しましょう 設置して4年以上経過しているものは更新しましょう。</p> 
<p>ポイント⑤ ゴム管はときどき点検し、早めに交換を ガスもれの点検には石けん水を使います。</p> 	<p>ポイント⑩ ガスもれに気づいたら、あわてずすぐに器具せん、元せんを閉じ、窓や戸を開け、ガスを外に出してから農協に連絡を。 ※電気のスイッチやマッチは禁物!</p> 

●戸別訪問で
保安点検を
生活面はもちろん、
営農用としても、いま
や欠かすことの出来ない
大切なエネルギーとなつて
いるLPGガス。
農協では、安定的に、有利に、
安全にお届けすることを第一に、
進めております。
特に昨年三月、香川県坂出市に
「全農坂出LPGガス輸入基地」が
完成、「産油国から台所まで」の
合言葉どおり、より安定的に供給
することが可能となりました。
ところでLPGガスは、正しく
安全に使ってこそ、この便利さ
が生かされるものです。農協で
は、保安の確保をめざし、全戸
訪問・地域ぐるみの保安運動を
めざしております。
是非御利用下さい。

LPGガス事故を防ごう!

肱川 クローバー スタンプ会



ダブルサービス当選発表

クローバースタンプ会では、日頃のご愛顧に感謝して、今年からダブルサービスとして、ご使用いただいたシール台紙の中から抽選で、1等5,000円から4等500円までの商品券を差し上げています。

第1回として、去る8月7日の鹿野川夏まつりに抽選を行い、次の方がご当選されました。おめでとうございます。なお、賞金の商品券は、すでにご自宅までお届けいたしました。

た。

クローバースタンプ会では、来年も、ダブルサービスを実施する予定です。今年の抽選以降、来年の7月末日までにご使用いただいたシール台紙を対象に抽選を行います。

500円のお買物に1枚のシールサービスに加えて、もう一度のラッキーチャンス、お買物は、どうぞクローバースタンプ会加盟店をご利用下さい。



編集・発行
川上商工会
☎(0893)34-2531

【一 等】 五、〇〇〇円(商品券) 二名

鹿野川 森 政子 上森山 小谷 由春

【二 等】 三、〇〇〇円(商品券) 五名

子子林 横田方之 硯 大塚チズエ 中野 曾根和儀
上森山 大野千鶴子 石丸 松田カオル

【三 等】 一、〇〇〇円(商品券) 二十五名

岩谷校区 宮尾マツ子 谷田善和 和気豊
中野校区 菊池智子 岡山安子 浦中葉子 富永ナホエ 沖嘉子 藤中八重子 金野ミヤ子
子子林校区 沖トシエ 上原知エ子 立見芳子 出水アイ子 福田徳子 大野ミツマ 山内和子 東吉徳

大谷校区 石井一 土井浩司
正山校区 土居定丸 泉義幸 谷本孝治 大本富枝

河辺村 本田珠子

【四 等】 五〇〇円(商品券) 一〇〇名

岩谷校区 和気豊 富永絶幸 和気一郎 西田ヨシコ 和気豊子 富永トシエ 城戸ナミエ 森本ミサホ 森本梅子 和気ミキエ

中野地区 和気節子 堀ラクエ 立見芳子 北本サタ子 谷ハヤ子 水本忠徳 河野元磨 台野正光 富永光恵 楮本シナヨ 大野千鶴子 松本幸子 富永智恵子 山下ノブエ 徳本和子 西岡満 橋本三代子 和気久子 沖仁 岩本カネ子 出水春好 戸高ツルヨ 武田久子 山田由美子 白岩恵 池田キミ子 万岡嘉光 亀田里江 山下純一 山内吉晴

三瀬算雄 山内鈴恵 寺尾富美子 谷田和子 角田貴美子 富永善吉 成登ミキエ
上原知エ子 森本鶴雄 大塚チズエ 橋本照子 久保田大介 坂本深雪 赤岩繁吉
高倉政徳 松田カオル 西田キクエ 藤中八重子 金野保 兵頭一重 金野翌 曾根フサ子 高尾麻子 沖野常一 富永隆子

子子林校区 大野和 宮田クマヨ 東光子 三瀬ハル子 芝田福吉 畦崎伸徳 井脇ヒナ子 正阿弥イツヨ 内田コトヨ 山崎逞 下崎マサ子

大谷校区 沖田利雄 新平夫 山中ミツル 下野雅子 山下トミエ 藤本シマヨ 谷本百合子

正山校区 浅井信子 香川清茂 山下トミエ
谷本幸治 渡辺貴美雄 下野久子 安川マキ子 中岡勝美 円南寺春義 安川安子

河辺村 大野隆盛 池田コマツ 中岡千秋 岡サエ子 谷トシエ 往見守 新セツ子

国金だより 年末資金 お取扱い中

利率も下り、一層有利に
お申込は早目にどうぞ

国民金融公庫は、おかげさまで、現在、三人に一人の割合で、中小企業の方にご利用いただいている

政府系の金融機関です。

公庫では、十月から年末資金のお取扱いを開始いたしましたのでご案内申し上げます。

スピーディーな貸付をモットーにいたしておりますが、年末が迫ると窓口が混雑しますので、できるだけ早目のお申込をおすすめします。

○ご利用いただける方――

個人または法人で次のいずれかに該当する方です。

○資本金一千万円以下

○従業員百人以下（商業・サービス業の場合は五十人以下）
ほとんどの業種の方にご利用

ただけます。

○融資額――二千百万円以内

○融資期間――五年以内

○利率――年七・九%

○資金の使いみち――

○年末商戦の商品仕入に

○買掛金や支払手形の決済に

○ボーナスや諸経費の支払に

年末資金お取扱い期間中であっても、設備資金貸付のご相談も承っております。設備の内容によっては三千万円、十年までご利用いただける特定設備資金貸付もあります。

詳しくは、川上商工会・国民金融公庫の窓口へお気軽にご相談下さい。

昭和59年8月1日から

雇用保険が変りました

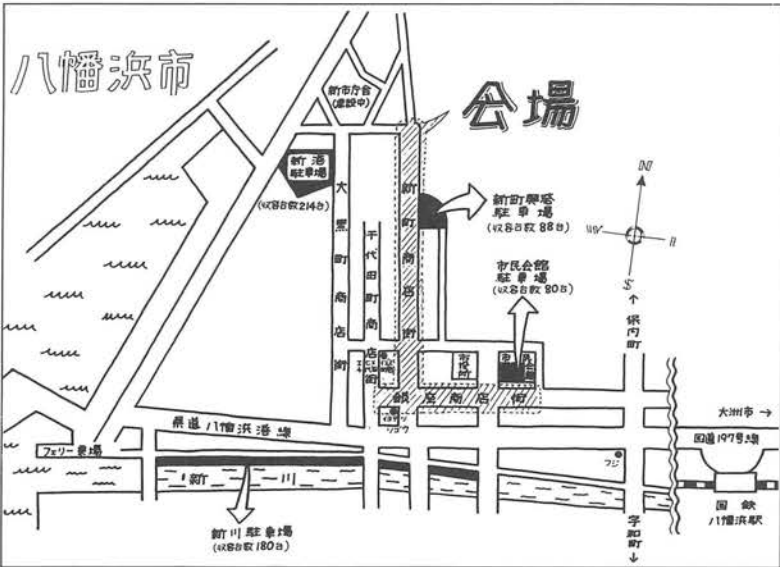
人口の高齢化、第三次産業の拡大、婦人の職場進出など構造的変化が進む雇用失業情勢に対応するため、このほど「雇用保険法」が改正され、この八月一日から施行されました。

主な改正点は、次のとおりです。

○六十六歳以上の人が、新たに雇用される場合には、短期雇用特例被保険者・日雇労働被保険者に該当する場合を除き、被保険者とならないこと。ただし当分の間、一定の要件を満たす人に

☆そのほか、基本手当などの日額の引上げ、基本手当を受給できる回数の変更、正当な理由のない自己都合で退職した人などに対する給付制限の期間の延長が行われるとともに、定年退職者等に係る基本手当の受給期間の延長、高齢求職者給付金（六十五歳以上の常用労働者であった人が失業した場合には、勤続期間に応じた一時金を支給する制度）再就職手当（早期に再就職した人に対して新たな手当を支給する制度）の制度が新設されたこと。

第8回南予地区愛媛県産品まつり 八幡浜ふるさとまつり 会場案内図



ご案内

第8回南予地区愛媛県産品まつり
八幡浜ふるさとまつり の開催について

県産品の周知紹介と愛用の促進を図るため「南予地区愛媛県産品まつり」が11月3日（土）・4日（日）に八幡浜市の新町・銀座の両商店街において開催されます。

今回は新しい試みとして、八幡浜ふるさとまつり実行委員会（川本留市委員長）が実施する八幡浜ふるさとまつりとタイアップして、従来の県産品の展示・即売はもちろんのこと、ふるさとまつりの一環としての各種イベントや遊びコーナーなども準備されておりますので、ご家族・ご近所お誘い合わせの上、是非ご来場下さい。

○日時
11月3日 午前11時～午後6時半
11月4日 午前10時～午後6時半

○場所
八幡浜新町・銀座両商店街（アーケード内）

会員ニュース

新装オープン

八恵商店

去る八月に、八恵商店が新装オープンしました。今までは、一階の八恵商店と、二階のスナック八恵とに分れていましたが、今回、一階の裏を改装して、食堂にされました。

お店のほうには、お菓子・ジュース・果物などが並べられています。それにたばこの販売と、宇和島・伊予鉄バスの切符の販売も同時に行っています。

食堂のほうは、カウンターとテーブル、それに座敷もあって、お客様の評判も良いようです。麺類が主な



新しく生まれ変わった八恵商店

献立ですが、寒くなっていくこれからはおでんも始めるそうです。閉店はだいたい八時とのこと。兵頭さんが商売を始められてから四十年になるそうです。その間、大判焼きを十年余り、喫茶も約十年と、いろんなことをやってきた

かけ橋

夏、プール、子供たちの元気な声と監視の父兄の姿。いかにも夏真盛りという一日があった。鹿野川ダムの上にかかった入道雲、そばの川にはアユの友掛けの人の姿、セミの声が昔の子供の頃を思い出させてくれた。

家のすぐ下には川が満々と水をたたえて流れ、アユが釣れ、ウナギもカニもオコゼもハヤも獲れた。水たまり(淵)へは、昼ご飯が済むとすぐに泳ぎに行つたものである。薄暗くなるまで……。

今、私が残せるもの

あの頃は、本当に一日中、自然とたわむれていたような気がする。時代も変り、今の肱川はごらんのとおりである。遊びも、テレビゲームとかなんとか、子供は外へ出なくなり、宿題で遊ぶ暇もなく時間に追われる毎日を送っているような気がする。私はよく思うこ

とがある。「トラは死して皮を残す」というが、自分はいったい何を残せるだろうか。大工職人ならこれが君のお父さんが建てた家だよとか、この絵は……とか、この道具は、この道は、この……。

と言うことです。

これからは身体に気をつけて、お客様に喜ばれるお店にしていきたいと話しておられました。今後のご活躍を期待しています。

「使用済乾電池」回収

川上商工会 婦人部 川上青申会

九月中旬から商工会婦人部と川上青色申告会婦人部が、商工会事務所にポリ容器を設置して、使用済の乾電池を回収しています。

これは、本年度の婦人部事業計画の一環である「住み良い環境づくり」の中の一つとして取り上げたいものです。現在、全国で公害な

しかし、私には何も作れない。だから、せめて、子供に、孫に、肱川を愛し守ってくれるであろう人たちに、この美しい肱川の自然を、住みよい町を、人情を残してやりたいと思う。

今の肱川の置かれている立場、それをもう一度よく考えてみよう

ではありませんか。農業、工業、商業、どれも問題だらけ多く、なんの進展もなく

「惰性」ではないでしょうか。仕事があるからする、種をまく時期だから種をまく、何もかも手をこまねいて待つ時期ではないはず。今、肱川町を揺るがしている河辺川ダム建設の問題にしても。(丁)

春夏秋冬

どの問題で話題となっている使用済乾電池の廃棄処分についてどうするか検討した結果、婦人部と青申婦人部が協力して回収し処分してはどうかということになったものです。

捨て場所に困って今までは不燃物と一緒に出していたという人も多いと思います。が今後は、乾電池と不燃物の区別をしてほしいものです。

人がだれかにお祝いのコトバをのべているのを聞きますと、いつもそらぞらしいなあと思います。あいさつやスピーチのうちでも祝いを言う機会は、一番多いもので、そのたびに

私も迷うことがあります。むしろ祝のコトバは、受ける人の身になって考えてみるのが一番いいと思います。

秋は、結婚式シーズンです。全国どの式場も予約で、いっぱいなのです。だれでも一年に一・二回、結婚式に招かれてますが、スピーチをたのまれることも多い

ものです。大ぜいの前でものを言いたい慣れない人には固くなる上にマイクなどを持たされるものだからよけいに固くなります。カラオケで歌うようなわけにはいきません。ことに「失敗すまい」という意識が強すぎて、心にゆとりがなくなるせもあるのでしょう。心にゆ

とりを持っていつもの気持でやりさえすればかなり聞かせるスピーチができると思います。まず心から自分も喜ばしいという感情を心に持つこと、また必要なら自分だけ知っている過去のこと、たとえば当人たちの父母、兄弟のこととか、当人たちの幼時のことなどに触れることです。もちろん二人の将来についての祝福のコトバも忘れられません。身内的な立場で身びいきばかりしないで相手側にも手をさしのべるコトバを忘れてはいけないと思います。次に時間でしよう。あまりにも長い時間スピーチをされるとそれだけで雰囲気が悪くなる場合があります。あくまでも主役は当人たちであり、私たちは盛り上げる役なのです。

最近カラオケチームがまだまだ続いています。結婚式でも多く歌われます。曲名が何であれ、歌が上手・下手であれ、時間がたつにつれしらけてしまうようです。何故でしょう。時間の制約で何人もの人が順番を待ち続けて歌うせいもあるようです。しかし長くなればキリがなく、もう少し長ければと話しが出る程度に短いほうが、良いのではないかと思うのです。当人たちにとっては、一生の思い出になることなのですから、回りの手で盛上げ今日の結婚式は、いままでで最高だったといえるようにしたいものです。そうすれば二人にとって人生のスタートのすばらしい門出となることでしょう。

松之越のにぎわい

予子林 石河 数男(71歳)

朝霧の中を山の方から鈴の音が聞こえてくる。耳を澄ますとかすかに馬子唄も流れて来る。

へ岳のダンジリ一ヶ森 下ってコビシヤク松之越へ

遠いかと思うと意外に近くなつて、今朝もまた馬と馬引きさんたちが下って来るのが分かる。

まだ明けきらないうちから、松之越の駄場はもうすっかり目覚めていた。散髪屋をしている母はかみそりを研ぎ、すぐこの飲食屋からは煙と湯気が立ち上り、名物甘酒まんじゅうの匂いに、朝食前のすきっ腹が鳴った。

下駄屋・樽屋・竹籠屋・苗木屋・鍛冶屋など、呼ばば聞こえる間に十一・二軒の店が表戸を開けて客を待っていた。

馬がやって来た。大きな荷を背負い、体中の毛を汗でびっしょり濡らし、鼻息荒く飲食屋のそばで立ち止まった。

「ヨーシヨシ。ようやった。ようやった。ヨーシ、まんじゅう食わしちやるぞ」



ふるさと回想記

57回

馬引きさんは馬の汗をゴシゴシふいてやりながら、皿に盛られた五個の大きな甘酒まんじゅうを、惜しげもなく馬の口へ放り込んだ。いつの間にか人も馬も多くなってきた。四方に延びる道から集まって来たのだ。馬の鈴やひづめの音、一服しながら話し合う馬引きさんたちの大声で、松之越は急ににぎやかにになった。

◇
とまあこういう調子で、私が小学校へ行きはじめたころの松之越はにぎやかでした。北は岳山から惣川・小屋へ、東は堂野

窪から城川町・魚成へ、途中で別れて遊子川から土居に通じる街道となり、南は龍王山から野村町へと続きます。こういう地域の荷がほとんど松之越を通過して西に下り、硯港へ集められたわけです。行き荷はマユ・ろうそくの原料となるハセの実、梶の皮・雑穀など、帰り荷は酒樽・焼酎のうんすけ・海産物などを積んで、多いと

きには何十頭という馬が行き交うたものでした。

ちよつと下ったところ、実は私が今住んどるところになるわけですが、井関という蠟(ろう)屋の前にはいつも五・六頭の馬がつかないであり、しつぽで顔をたたかれんように、大きな馬の尻をよけて通るのが、おそろしくもおかしくもありません。

このような平日のにぎわい以外に牛市が毎月、特に八月十五日の大市の日には子供相撲から専門の相撲とりまでやって来て、近郷近在の人は見物に来る。露店は出る、駄馬中が大にぎわいというありさまでした。

ところが大正十三年七月、松之越の真下にトンネルが開通して様相は一変しました。運搬の手段が峠道を行く馬から道路を走る馬車に変わっていったのです。

松之越の家は一軒減り二軒減り、とうとう戦後間もなく、一軒ものうなつてしまいました。当時をしのお大きな三本の松の木と不動様・観音様の像も朽ち果てようとしています。

しかし最近、林道脇川野村線が開通し、昔の道を車が通るようになりました。龍王山から松之越を経て林道に合流する龍王茶堂線も計画に上っているようです。馬しか通らなかつた道に車が通る。馬子唄の代りに車のエンジンの音が聞こえてくる。感無量ですなあ。

野菜をとって体に栄養と活力を

食欲の秋ですが、肉料理に添えられたニンジンやジャガイモの細切り、サヤインゲンなど――緑色や黄・赤色の野菜は見た目にもきれいで、食欲をそそります。肉や魚介類は、体の血や肉となりませんが、これだけではただ大るだけで何んにもならないと言われています。体を活発に動かしたり調子を整える役目を果たすのは、野菜類なのです。

食物のもっている栄養のイメージを、赤・黄・緑の色で表した栄養三色という言葉があります。赤色は肉や魚介類・豆類で、体の血や肉になります。黄色は穀類やいも類、油脂などで体を動かす力となり、緑色はその他の野菜類や海藻・果物で体の調子を整えます。つまり野菜には、体にとってどうしても必要なビタミン類・ミネラル・カルシウム・良質タンパク質・糖質・繊維質がいっぱいなのです。

まずビタミンの中で、のビタミンAは、肌を美しくするうるおい成分(ムチン)やのど・食道・胃・腸などの粘膜を守ります。ニンジン・パセリ・シユンギク・コマツナ・ホーレンソウ・大根・カブ・

カボチャなどにはビタミンAがたくさん含まれており、これらの野菜を食べていれば肌もつややかでカゼにかかりにくくなります。でんぷんをエネルギーに変えたり脳や体の発育を促すのが、ビタミンBで、サヤエンドウ・インゲン・ジャガイモ・ソラマメ・キャベツなどに多く含まれています。

肌を美しく保ち、ストレスの蓄積を防ぐ役目を果たすのは、ビタミンC。ピーマン・大根・ホーレンソウ・カリフラワー・キャベツ・サツマイモ・トマト・カブ・キュウリなどに含まれています。繊維質は、腸壁を刺激して、腸の活動を活発にさせます。これは肉や魚介類からはとりにくく、野菜に頼らざるを得ません。

繊維質の中でも、特にペクチンという繊維質は、動脈硬化の原因となるコレステロールを取り去る働きがあり、カボチャ・ニンジン・ジャガイモ・ゴボウなどは、ペクチンが多い野菜です。骨や歯を強くするカルシウムは、インゲン・大根・ゴボウなど、貧血を防ぐミネラルはホーレンソウ・キャベツ・サヤインゲン・ジャガイモなど、高血圧防止のカリウムは、いも類・レンコン・トマト・ウドなどに含まれています。

野菜をとって体に栄養と活力を



野菜の知識

スポーツの秋!

今や、スポーツは一年中、しかも子供から高齢者まで幅広く行われています。

生涯スポーツといわれていますが、人の一生を通して、何らかのスポーツ活動が続ける事は、肉体的にも精神的にも大切な事です。心を取り戻して、毎日の生活を張りのあるものにしてほしいのです。

スポーツといえば、競争・競技という面が強調されがちですが、だれでも気軽に、そこに集まった人達がいつしよにできるような、やさしい、そして楽しい運動があります。それらをほんとうに気軽に楽しめる態度や技術を持つているという事は、あらゆる場所・機会を生かして楽しいひとときを持つことができるということです。

ちょっとした工夫とちょっとした時間があれば、みんなで楽しめるスポーツは、いくらでもあります。軽スポーツといわれているものですが、みなさんも、一度、ためてみて下さい。楽しいものです。
 肱川町でも、クロッケーをはじめいろいろなスポーツを実施していますが、今後も、みんなで楽しめるスポーツを推進していきます。秋です。スポーツで心と体をきたえましょう。

正山・二年ぶり七度目の —第二十四回町民運動会— V

第二十四回町民運動会は、十日の体育の日が雨で、延期しておりましたが、十四日(日)に肱川中学校で開催しました。

二・三歳児から高齢者までの各年代ごとに設定されたプログラムによって、二十七種目を行いました。参加選手延千三百名余りが出場し、楽しい一日となりました。

分館対抗競技は、正山分館と子林分館が、七十四点で同点となりましたが、一位の種目が多かった正山分館が二年ぶり、七回目の優勝を飾りました。

職域対抗リレーでは、農協購買部が三年連続、おまえと二人では中居谷部落がそれぞれ優勝しました。町民お互いの親睦と融和を図ることを目的として、昭和三十六年からはじめた町民運動会は、肱川町の秋の一大行事となつてすっかり定着しました。これを契機にさらに地域づくりのための活動を進めましょう。

○総合成績

一位	正山分館	74点
二位	子林分館	74点
三位	岩谷分館	54点
四位	大谷分館	53点
五位	中央分館A	42点
六位	中央分館B	41点

○職域対抗リレー優勝 農協購買部

○部落対抗おまえと二人優勝 中居谷部落 (二分五〇秒)

(二位の成績が多い正山が上位)



19・20・21……(みんなでジャンプ)



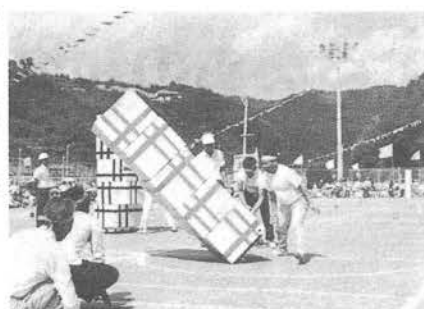
これは……(肱川のうかい)



エリマキトカゲも応援に……



こん身の力をこめて(綱引き)



あ～あ(大型貨物運搬車)

ファインダー



▼町民運動会が終わった。六年ぶりに雨のため延期されたが、無事終ってホッとした。ここ何年かは、運動会も白熱した大会となり、接戦が続いている。二年連続同点というのはじめての事である。しかも同じ分館とは……。

町民運動会は、いま町の最大行事となっている。役員の方々は苦勞も多いと思われるが、町民みんなが楽しみにしている大会を成功させるよう、ますます頑張っていたきたい。なにはともあれ、いい大会だった。

▼さて、これからは、祭りのシーズンである。各地区で豊作を祝つての催しが行われる。昔から、祭りは、コミュニケーションの大きな役割を果たしてきた。小さい頃、みこしに手を合わせ、鹿踊りの笛の音に心をときめかせ、牛鬼から逃げ回ったなつかしい祭り行事を、みんなでまもり、みんなで盛り上げていきたいものだ。

▼生活運動が、町内各団体の連携で進められている。困っている時の相互扶助から始じまったお見舞とかは、悔みの意味をもつ一度よく考えて、この運動をさらに推し進めていこう。

り
見栄を捨て心豊かに明るい町づく



I部 大栄 B月 II部 大三 III部 共栄・協生連合

第12回ソフトボールリーグ戦

第十二回目のソフトボールリーグ戦は、九月十九日に閉会式と運営委員会を開き、全日程を終了しました。

脇川町ソフトボールクラブを結成し、自主的な運営の中で実施されたリーグ戦でしたが、スムーズに進み、予想以上の成果が上がりました。

今年度は接戦の試合がとても多く、実力が接近してきているようです。一部では上位三チーム(大栄B・大谷ギャートルズ・オール中居谷)が同率となりました。規定による抽選の結果、大栄Bが初優勝を飾りました。二部も三月と子子林Cの抽選の結果、三月の優勝、三部は、安定した戦いぶりであり、協生連合でした。

このリーグ戦のねらいであり、まず地域での話し合い活動や部落づくりがより活発になるための、学習会などを今後は、進めていきたいと思います。

岩谷地区では、昨年度から生産

学習として、岩谷地区をどうしていくか、これからの地域づくり、一般教養、農林業の問題など、農村地域での真剣な学習が進められています。
成人男子として、地域のリーダーとして、地域づくりを考えてみようではありませんか。
今日から……。

II部		順位	勝点
子子林C	○	1	6.5
小藪B	○	2	4.4
ドラランカーズ	○	3	3.3
大谷マツクイムシ	○	4	5.3
小藪A	○	5	1.9
大谷ホワイトスターズ	○	6	4.5
三ヶ月	○	7	6.5
下鹿野川バリーグ	○	8	3.7
中野B	○	9	2.8

(同率抽選で三月の勝)

I部		順位	勝点
子子林B	○	1	3.5
下鹿野川セリーグ	○	2	5.5
中野A	○	3	2.8
子子林A	○	4	3.5
大谷ギャートルズ	○	5	5.5
上鹿野川A	○	6	5.4
オール中居谷	○	7	5.5
大谷レッドサン	○	8	0.5
大栄B	○	9	5.5

(同率抽選で大栄B、ギャートルズ、中居谷の順)

III部		順位	勝点
岩谷タイタン	○	1	4.5
大谷メッツ	○	2	6.3
岩谷クリタマバチ	○	3	3.9
共栄・協生連合	○	4	8.1
バイキング	○	5	1.10
山道	○	6	3.5
中野C	○	7	4.5
上鹿野川B	○	8	7.2
赤岩橋	○	9	4.5
大栄A	○	10	4.5

読書週間

秋です 本です 読書です

10.27 ~ 11.9

秋の恒例行事である読書週間が、文化の日を中心に全国的に展開されます。

「本はどうも……。」といわれる方も、ぜひこの機会に一冊手にされてはいかがでしょうか。また、親子で同じ本を読み、感想を述べ合うのも楽しいものです。

※おねがい

本の返却を忘れていたり、遅れている方、至急返して下さい。

親が本を読んでいる姿を、子どもに見せると、次第に本好きも子どもに育つはずですよ。親も子どもも忙しい毎日ですが、みんなが助け合い、工夫をし合っ、読書の時間をつくり出しましょう。

この秋、一人でも多くの方が、読書による新しい発見の旅へ出発されることを願っております。

筆随り

<154> 花つくりの楽しみ



小藪 沖野 幸三

コスモスの花も色鮮やかに、秋風の吹く季節となりました。庭先の花もアサガオ・ヒマワリなどから、キク・ケイトウなど秋の花へ移り変わっています。今まで、こうした花々も四季を通じて私達の生活とは、切り離せないものとなっています。窓辺に置かれた鉢花は、暖かさや涼しさを与えてくれ、食卓や机に置かれたさり気ない一輪ざしは、その場の雰囲気をも明るくしてくれます。

花との融れ合いを数倍楽しいものにしてくれます。庭先の数種類の花を植えたり、ベランダやテラスなどで、プランターや鉢を使って家の装飾の一部にしたり……いろいろな楽しみ方があります。自分で作り、自

ミ草、夏ならヒマワリ・アサガオ、秋にはキクと言う様に簡単な物から手がけてみましょう。一つ作れると自分でも不思議に自信がついてきますから、後は少しずついろいろな花に取り組んでみませんか？

僕達生産者は、いつも多くの人達に喜んでもらえる花を作る努力をしています。栽培その他、花についてわからない事があれば、みなさんと一緒に勉強したいと思います。

分で楽しむと同時に目まぐるしい動きの中で生活をしている私達現代人にとって、少しでも生活や心に余裕が持てるのではないのでしょうか。

また、僕のハウスにも遊びに来て下さい。気軽な声をかけて下さい。

次は正山小学校の大字根秀夫さんにお願ひします。

また、玄関に飾られた生花は訪れた人々の目を楽しませてくれます。そんな中で、見るだけの楽しみから、作る楽しみへと少し進んでみませんか。種や苗から、自分の手で育てたものが、花を咲かせた時の喜びは、

覚書一例

藩制時代に出された通達は種々あるが、その中から、「百姓に対するもの」と「庄屋に対するもの」の二つを挙げてみよう。なお、当時は印刷術も発達しておらず、書きされた奉行所からの書面を、町方や村方へ順達し、町方村方は、それを役人が書き写し留めて、町内

覚書

① 村内へ周知させた。これらの通達を記録して残したものを「触留」とか、「御用留」と称していた。見出しがわりに「覚」と書かれたものが多くいようであるが、これは、「覚え書き」という意味か、または、「覚えておくべき事」という意味か、書き写しの過程で変ってくる。

覚(百姓へ)

- 一 袴の裏へ付ける布は、木綿であつても禁止する。
- 一 旅行の際の衣類は、質素な品を使用すること。但し、出発時帰着時共に木綿物を用いること。
- 一 子供の胸かけの紐や、衣類の紐は、袖より品質の悪いものを使うこと。



夫人(庄屋宛)
一と事(庄屋宛)
一と事(庄屋宛)
一と事(庄屋宛)
一と事(庄屋宛)
一と事(庄屋宛)
一と事(庄屋宛)
一と事(庄屋宛)
一と事(庄屋宛)
一と事(庄屋宛)

- 一 婦人の履物の緒に使用するものは、木綿か皮類にすること。
- 一 慶事や不幸の際の訪問や贈答は、親子兄弟間のみとし、手軽な品ならやり取りしてよろしい。但し、医者や師匠などの恩儀をうけた人は例外とする。藩の家臣宅へ出入りする心やすい者であつても、右のような場に品物を差出してはならない。但し、金一封はよろしい。
- 一 錢別や土産は親子兄弟間に限る。
- 一 近頃、雑送などいって、飲食物を持って、いろいろな場所へ集つて遊ぶなど、高慢になつてゐる。今後は必ず質素な生活をするよう心掛けること。
- 一 嫁入りごしらえが、近年度を過ぎてゐるようである。今後は

禁止されている品を取りかまえるようなことを禁止する。

男性達が堂嶋下駄と称して、表付きの体制のよい品を使用しているようであるが、この類のものは禁止をする。

町内で、これまでも上等の品の販売を禁止してきたが、今後とも反物類や櫛・笄・簪等に致るまで、禁止されている品は勿論、たとえ禁止はされていなくとも、上等の品と紛らわしい品を売買することは、固く禁止をする。

高機(手織機の種類)を使つて織物することは禁止されていたが、今後は許可する。

日雨兼用傘だと称して、近頃日傘と紛らわしい品を使つてゐるようだが、今後は禁止する。安政三年六月

郡奉行

覚(庄屋へ)

- 一 近年不作なので、いろいろと止むを得ぬわけもあるが、庄屋の中には、自作面積を減らし、農業に対する熱意が次第に薄れて來てゐる傾向の感じられる者も見当る。村の長たる者の任務は、農業を勧めることが第一義であるから、今後は出来るだけ自作をし、一般の hands となるよう専ら農業に精励せよ。そして、一般の者への農業への関心を誘つようよく努力せよ。
- 一 庄屋達の在職年限は、去る卯の歳に十年程にしている。そろそろ庄屋の交代時期が來てゐる

ので、近々考えを申し出るように申し渡す。借用状況によつては、たとえ引続き庄屋に就任したいと願ひ出ても、庄屋株を売り渡すよう命ずることもある旨を達しておいたにもかかわらず、借財が増えたてゐる者もあり不都合である。注意せよ。

必ずよく相談の上押印せよ。一 村税が高くなつてゐる時勢で仕方が無いが、村民一同は難儀をしてゐる。年限により無効となるお定めも数々あるけれど、改めてお達しが出るまでは、たとへ年限が來ていても、以前と同様に、定めは固く守ること。言うまでもないが、何事に於ても最初から切り詰めるよう役人達で申し合わせて勵んでほしい。安政三年六月

郡奉行

同和問題 二問二答

①

- 【問】幼稚園でも同和教育が行われているとききましたが、幼稚園でも同和教育が行われていることについての質問は、よくありますし、もっとほかのことを教えてください。という意見もあります。
- 幼稚園では勿論むずかしい歴史など教える筈はありません。幼児に大切な生命の大切さや集団生活のすし方など、小学校・中学校と進み、立派な大人に成長してゆくうえに大事な基本的な事柄を「同和教育の視点に立つて」育てるのです。例えば
- 友だちは誰とでも仲よく遊ぶ
 - 人のいやがることや、ばかにしたことを言わない。
 - 身のまわりを清潔にする
 - よい悪いの区別ができる
 - みんなで助け合つてゆく
- 当番や手伝いをすすんでする
- 困つてゐる友だちのことを考えてあげる
- きまりを守る
- 動植物に生命があることを知つてかわいがる
- 心や体の弱い子をいたわる
- 父母の仕事を知り、働く大切さを知る。……などのことです。
- 当然といえば当然ですが、このよな教育を、よりしっかりと行うことによつて、次の小学校での同和教育「差別に気づく」、あるいはもう一歩進んで「差別を見ぬく」など、ものごとを科学的に考える基礎固めがなされるのです。
- 心ある人間として正しく育つかどうかの大切な時期の大事な教育であることを、ご理解下さい。

文化講演会へ

どうぞ

古里を考える!

今、各地で古里づくりのための施策や活動が盛んです。商工会と公民館では、昨年度から共催で、古里を考える文化講演会を開催しております。今年度も、全国をまわって「町づくり」の手助けをされている志村弘雄先生を招いて、下記のとおり、第二回

目の文化講演会を開きます。「町づくり」は、町民のみならず一人一人の課題として、取りこんでいきたいものです。お誘い合わせ、是非ご出席下さい。

- 一日 時 十一月二十一日(水)
- 二場 所 肱川町公民館
- 三講 師 志村弘雄先生(東京都)(毎日新聞社副理事)
- 四演 題 地域の特性を生かした町づくりをどう進めるか
- 五受講料 無料
- 六主 催 川上商工会/肱川町公民館
- 六後 援 肱川農業協同組合/肱川町森林組合/肱川町婦人会/肱川町青年団

絵で見る「ひじかわ」

—肱川30景展覧会—

川町の三十景を描いていただいておりますが、この程完成しました。肱川町の風景の中から三十ヶ所

肱川町の産業や生活の貴重な資料を後世に残す。又、文化財や生活文化の学習に役立てようと、歴史民俗資料館(農業資料館)が大駅場に建設されて、三年を迎えようとしています。歴史民俗資料館では、その事業の一つとして、肱川中学校の加州先生にお願いして、



湖畔の桜

が「絵画」になりました。その絵の展覧会をしております。是非ご覧下さい。

期間 十月十五日～十一月十五日(一ヶ月間)

場所 肱川町公民館集會室

製作 加州与理雄(肱川中教諭)

- 助ける 急停車命拾いをした仔犬 良子
- 助けたいけれどこちらも火の車 芳子
- 助けたと無線が入りうれしなき 末未
- 読む 大人の心読みとる様な児の視線 みさほ
- 読み捨ての新聞読んで汽車の旅 ふみ緒
- 見だしだけ読む新聞をやめもせず 末未
- 母の便り読めば涙線すぐゆるみ 良子
- 茶 折り合いがついて茶づけのうまい朝 ふみ緒
- 手もみの茶やっぱり里の味がする 一敏
- 真黒な大やかんかけ現場昼 末未
- お客より帰りくつろぐお茶の味 恵美子
- 昼寝 心ちよい昼寝邪魔した電話ベル 芳子
- 満腹でゴロリ昼寝の気持よき 二重楼
- もすこしと昼寝のすぎたまぬけ顔 智エ子



つりはし

出番です！お父さん・お母さん

19

○逃避型の父親

子供が社会性を身につけるのは、父親の影響が大きいといわれます。社会的に活躍していて尊敬されているというイメージを子供が持つと、社会の集団に積極的に参加する意欲がわいてきます。

仕事忙しい、家族の人間関係がわずらわしいと家庭から逃げていたり、子供と対決するのを避けていると、子供は消極的にし、ものの考え方を混乱させます。

子供にとって、父親は将来自分がおとなになって社会に出る時のお手本です。男の子は自分の生き方を父親から学びとろうとします。女の子は将来の結婚の相手として理想の男性の姿を、父親を見て作ります。

子供との接触の機会を父親が作らないと、青年期になって、男の子は社会へ参加したがいらない引込み思案な人間になり、女の子は男性が理解できなくて、なかなか結婚したがりません。

○放任型の母親

母親が子供と接する時間が少ないと、それなりの工夫をして、子供との時間を多くつくるのが大切です。たとえば、共働きやいろいろな理由で、祖母に育児を任せてしまつて、母親が遠慮せざるを得ない状態になると、子供との心のつながりを作る機会を失います。これも一つの放任につながります。

乳児期に母親の愛情が欠けていると、栄養や保育環境が整っていても、食物を拒否して、うつ状態になり身体が衰弱していくという事実が観察されています。赤ん坊の自発的な微笑反応に、母親が愛情込めてほほえみ返すことの繰り返しから、人間同士の心の通い合いの基礎が作られます。人生初期の母親の愛情が、人の一生を作っています。

お母さん/子供との時間を大切に。

くらしの中の無理をなくして、真心のこもったお付き合いをしながら、心の通い合うふるさつづくりを進めましょう。

○結婚改善を進めよう!

○お見舞い返しや香典返しをやめよう!



●健康づくり料理教室

月日	場所	時間
11月2日(金)	小藪集会所	午前10時
11月12日(月)	共栄集会所	午前10時
11月16日(金)	岩谷集会所	午後3時
11月21日(水)	大谷公民館	午後3時

●結核検診

月日	場所
11月7日(水)	共栄・中居谷・正山・大洲 製・岩谷・小藪・郷・子 子林
11月8日(木)	白石・大谷公民館・ 肱川町公 民館

●献血

月日	場所	時間
11月8日(木)	大谷公民館前	午前10時～11時
	肱川町公民館前	午前12時30分～ 午後3時

●成人病
胃がん 検診

月日	場所	時間
11月14日(水)	大谷公民館	午前8時30分
11月15日(木)	肱川公民館	午前11時30分

●乳児健康診査

▽日時 11月19日(月)
受付 午後1時～2時
▽場所 肱川町公民館
▽医師 郷緒 良三先生

●三種混合ワクチン接種

▽日時 11月20日(火)
午後1時30分～2時10分
▽場所 肱川町公民館

●へき地栄養学級

月日	場所	時間
11月28日(水)	正山公民館	午前10時 午前3時

●成人病予防教室(第2回)

▽日時 11月29日(木)
午前10時～午後3時
▽場所 肱川町公民館
▽対象 貧血者本人又は家族
▽内容 貧血予防の調理実習
講話 「貧血予防について」
講師 和氣 千秋先生

●不用犬回収日

▽日時 11月13日(火)
午前9時までに役場へ。

相談ごと案内

●心配ごと相談

▽時間 午前9時～午後4時
▽場所 肱川町公民館
心配ごと相談室

相談日	担当相談員
11月5日(月)	福田 恒三 沖野 智恵子
11月15日(木)	藤高 エミカ 宮田 静
11月26日(月)	兵頭 芳一 森田 充一

●行政相談

▽日時 11月5日(月)
午前9時～午後4時
▽場所 肱川町公民館
心配ごと相談室
▽相談員 福田 保委員

11月日曜・祝日当直医

日	当直医	電話
3日(祝)	宝来医院 (内子町)	44-2248
4日(日)	小川医院 (内子町)	44-2815
11日(日)	古川医院 (内子町)	44-2407
18日(日)	町田医院 (内子町)	43-0211
23日(祝)	成田医院 (内子町)	47-0061
25日(日)	前田医院 (五十崎町)	44-2859

●農地相談

▽日時 11月26日(月)
午前9時～午後4時
▽場所 役場第3会議室
▽担当相談員 亀田 元市委員

☆農地関係についてお気軽にご相談ください。

郵便局だより

●電子郵便の取り扱いを開始しました

十月一日から、肱川郵便局ならびに子子林郵便局で、電子郵便の取り扱いを開始しました。電子郵便とは、郵便送達の一部にファクシミリを利用した新しい郵便システムで、お引き受けしたメッセージを、そっくりそのまま先のお届け先へ送信し、速達便であて先へお届けする郵便です。

したがって、文字やグラフ・設計図・デザイン画など、こまかいものも正確に送れます。また、手書きのお祝いの言葉やお悔やみ、イラスト等をそっくりそのままお届けすることができます。この場合は、慶事専用の封筒に入れてお届けしますので、受取人に強い印象を与えることができます。

配達地域 全国

▼料金 通信文一枚目は五百円、二枚目からは一枚につき三百円加算。

▼配達時間 当日または翌日中

▼配達日の指定 配達希望日が、差し出しの日の翌日以降十日以内の場合は、配達日を指定することができます。

▼送れる大きさ B四サイズ(半紙大)以内なら自由に選べます。皆さんもぜひご利用ください。

☆☆☆☆☆ お誕生日おめでとう ひなまつり

瓜生谷 山下 新一さん ☆☆☆☆☆

中居谷 三男 裕 介ちゃん ☆☆☆☆☆

中居谷 香渡 旭さん ☆☆☆☆☆

長女 千恵子ちゃん ☆☆☆☆☆

中居谷 石戸 豊さん ☆☆☆☆☆

長女 初 恵ちゃん ☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆ お祈りいたします

広 常 森 カツヨさん (90歳)

森 二宮 治重さん (83歳)